

## 「3枚のおふだ」

～学生とつくるペープサート、人形、影絵、舞台のミックス・パフォーマンス～

金田一 仁 志

### *Sammai no ofuda (three paper charms)*

A paper puppet play created with students:  
A performance incorporating the elements of puppets, silhouettes and stages

Hitoshi KINDAICHI

#### Abstract

This play was created by integrating live human performances with the non-human performances of paper puppet plays, puppet plays and silhouette plays that were studied in the department of Early Childhood Care and Education, Faculty of Human Life Sciences, Fuji Women's University. This is the actual record (script) drawn up by a project team of eight volunteers.

15回にわたって学び合ってきたペープサート(紙人形芝居)、人形劇、影絵、そして演技の授業を、楽しくひとつにまとめて発表することはできないだろうか？ これは3年生有志による「クリスマス集会での発表を目的とした実験劇」の記録である。

稽古は平日12時10分から13時までの昼の休み時間、場所は絵画準備室。参加者は以下の8名、そして上演は2016年12月20日(火曜)である。

作品は日本むかしばなしの「三枚のおふだ」、脚本・演出は金田一が担当した。随所に学生の発想、工夫があり、楽しい公演となった。

上演会場が食堂であったため、照明効果等に不満は残るが(影絵には照明が不可欠)半期にわたり学び合った結果を発表できることは大変に意義があったと確信する。

キャストینگ表以降は上演台本だ。稽古中の学生たちの表情(写真)を数枚のせる。

#### 『三枚のおふだ』

##### 登場人物

魔法使いの弟子(早坂棚乃佳)ストーリーテラー  
そのおともだち1(古高里菜)ストーリーテラー  
2(澤田可南)小僧の声(最初)  
3(増田春花)山んばの声(最初)  
4(中山依子)和尚の声(最初)

人形つかい・小僧(和田絹子)

人形つかい・和尚(吉田紗子)

人形つかい・山んば(加藤有香)

簡単なペープサート舞台。上手、シルエットシアター用のスクリーン。そこに魔法使いの弟子、小さな写真をもって登場。

弟子 あーうまくいかないなあ、魔法学校のテストも近いっていうのに…もう一回やってみよう！ クローズアップ！（金田一の写真、大

---

所属：

藤女子大学人間生活学部保育学科非常勤講師

Department of Early Childhood Care and Education, Faculty of Human Life Sciences, Fuji Women's University

きくなる。) クローズアップ! (写真、本人になる)

金田一 はい皆さんこんにちは、一週間ごぶさたでした金田一です…

弟子 もー! 引っ込んで! うるさいんだから! …ね、つづけて2回クローズアップの魔法使くと、本物になっちゃうの。大きくしたいだけなのにねー。

と、そこに学校のお友達、1、2、3、4がやってくる

1 ほのかちゃん

弟子 あーみんな

2 出来た? 宿題。

3 クローズアップの魔法。

弟子 それがねえ、うまくいかないよのよねえ、2回つづけて使くと本物になっちゃうのよ。

4 それはそれですけど、

1 でもクリスマス会も近いから、(ペープサート) こっちの練習もしなくちゃね

弟子 そうよね、まずはタイトルコール。せえのお

全員 「三枚のおふだ!」(音楽が流れてきます)

1 さてここは村のはずれのちいさなお寺

弟子 暑い夏もおわり野山はすっかり秋の色。

(4と3、幕をひらく。ペープサート劇場である)(はなうたまじりに小僧、カゴを背負い、下手から登場)

1 お寺の小僧さんはほくほくにゆでた山の栗が大好きです。

「今ごろ山奥の、いちばん大きな栗の木にどっさり実っているんだろなあ、」って思うと、もう、いてもたってもいられません。

2 おしょうーさ、おしょーさあ! なあ、山さ栗拾いに行きてえ行かせてくんろ、なあ、おしょーさあ!

4 (寺の中からしぶしぶ出てきて)こんぞ、またその話しか…いいか、たしかに山にはおいしい栗がどっさりだ、ゆでて食ったらほっこり

だ。

2 ごっくん (と、つばをのみこむ)

4 今年は山の色づきもいいから、栗の実も大きいことじゃろう。

2 あー、たまんねえ、和尚さ、一生の、いっしょ〜の願えだ、おらを山さ行かせてくれ、今すぐだ、今すぐ行かなきゃ先、こされちゃうー!

4 ハハハ、誰が先を越す。この寺より奥にゃ人は住んでおらん。

2 人はおらんでもサルがおる! キツネもタヌキもねらっとるう!

4 キツネもサルも、ついでにタヌキも、あんなイガイガ取りゃあせん。

2 いんや取る! きっと取るう〜!

4 …バカなこと言っとらんで、ほれ、ゆうげのしたくじゃ、ほれほれ

(と、去ろうとする、小僧、地面に大の字になり、だだをこねる)

2 …いやだあ! オラ行く、栗、ひろいに行くう! ああ〜ん!!

4 はあ〜しょうがないのお…これ、こんぞ、よく聞きなさい。あの山には おいしい栗もキノコもあるが、もうひとつ! おそろしい人食い山んばあが住んでおる。(SE、おそろしげに)…人間つかまえて、おおきな出刃包丁で、カラダ、ばあらばらにして…鍋で煮込んでぐつつぐつ。目玉はとけてどーろどろ、それをつまんでモグモグ、ゴクン…

山奥には人間の頭がゴロゴロころがってるそうじゃ…こんぞ、お前日が暮れる前にちゃんと帰ってこれるかな?

2 え?…かえるかえる。ぜったいかえる!

4 わかった、これは約束じゃ。しかし…相手は何にでも化ける、恐ろしい山んばじゃ、用心にこしたことはない。さあ、こんぞ、この三枚のおふだを持って行きなさい。(SE キラキラと)

2 三枚のおふだ?

4 そうじゃ、もし、なにかあぶない目にあつたとき、このおふだはお前の身代わりになってくれる。これはインドの国から伝わった、ありがたーいお経のほにゃらか、ふにゃらかが、

アータラの国の王子、コータラの娘の友達  
のなりに住んでいたおじさんの…

- 2 (待ちきれず、おふだをうばって走り出す)  
行ってきまーす！ (走る SE)
- 4 あ、こりゃこんぞ、暗くなる前に帰るんだぞ、  
約束だぞおー
- 1 あらら、小僧さん。和尚さんの言うこと最後  
までできないで
- 弟子 うん、飛び出して行っちゃったね、大丈夫  
かしら…

(次の台詞の間に舞台転換し、山奥に立つ栗の木と  
なる)

- 2 栗だ栗だ、栗の実だぁ～い！ 待ってるよ、  
でっかい栗の実い！ (走る SE、止まる) あっ  
た！ この山一番の栗の木だ！ うわぁ、落  
ちてる落ちてる、アハハ、でっかいなぁ…今  
夜は焼き栗、栗ごはん！ あははは！
- 1 小僧さんは栗ひろいにもう夢中、おしょうさ  
んと約束なんか、とっくにわすれています。
- 弟子 やがて日は落ち、あたりはすっかり夜のや  
み… (フクロウ鳴く) おや、向こうから誰か  
やってきたみたいです。
- 3 (ばあさま、下手から登場し)栗ひろいか、こ  
んぞ
- 2 うわあああ！…なんだばあさまか、びっくり  
したあ、オラ、てっきり山んばかと…
- 3 ハハハ、山んばが住んでおるのは北山の、も  
ひとつむこうの奥の山だ
- 2 そっか、よかった
- 3 んだが…帰り道はもうまっくらだ。腹もへっ  
たべえ、どうだ？ オラの家においしいキノ  
コ汁があるが、喰って休んで行かねえか？
- 2 キノコ汁！ おら栗の次にキノコ、大好き  
だぁ！
- 3 うんめえぞ～さあ、寄ってけ寄ってけ
- 1 そういつてやさしそうなおばあさんは山の奥  
へと歩き出しました。
- 弟子 小僧さんはへらへら笑って、その後をつい  
て行きました。

(セット転換。あばあさんの家。いろいろの上に大き  
な鍋が吊り下がっています)

- 3 さあさ遠慮しねえで、たんと食べ、うんめどお  
～
- 2 うん！ いただきます！ ぱくり、ゴック  
ン…ああ、うめえ！  
すんごくうめえ！
- 3 えんりょしねえで、もっと食べもっと食べ
- 2 うん！ (調子にのって) ぱくり、ゴックン、  
ぱくり、ゴックン！

(食べ終えた後の汁わんが次々積み上がって行き  
ます)

- 1 ええーそんなに食べて大丈夫？
- 弟子 お腹、すいてたのねえ
- 2 (ごろりと横になり) ううーん、もう食べね  
え、もう、食べねえ…
- 1 あらあら、小僧さんお腹いっぱいになって
- 弟子 うん、いろいろばたで眠っちゃったみたい(太  
鼓の音) あら？
- (太鼓、はじめちいさく、そして大きく最後の一打  
でおばあさんのペープサートが裏返しになる、と  
手には出刃包丁を持った恐ろしい山んばあが！)
- 3 ヒッヒッヒ…寝たかこんぞおオ…ヒッヒッヒ。  
このスキに包丁研いで、と…こんぞのカラダ  
切り刻み、鍋にこんぞの肉たして「こんぞオ  
鍋」としゃれこむか、人の骨からはいいダシ  
が出る。とくに子どもの骨からはな、ヒッヒッ  
ヒ…

(山んば、上手の壁後ろへと消える、と壁はスク  
リーンとなりシャキシャキと包丁を研ぐ赤い目玉  
の山んばが浮かび上がる＝影絵劇の手法)

- 1 キャア！ たいへん、あのおばあさん、山ん  
ばだったのね！ 起こさなきゃ！
- 弟子 小僧さん寝ている場合じゃないわ、起き  
て！ 小僧さん！
- 2 ううーん… (うす目を開けたが) もう食べね  
え (また寝てしまう)
- 1 食べねえじゃなくて、
- 弟子 そう、食われちゃうのよ、ちょっと小僧さ  
ん！
- 2 (気づき) へ？ あは、おいらすかり眠っち

まって…ふあーあ、あれ、ばあさま？

(影絵の山んばの赤い目玉が、ぎろりと動く。たえきれず4、出てきて)

4 ちょっとお、いいシーンなんだから、もっと大きくしましょうよ、ほら、クローズアップの魔法！

弟子 あ、そうね、えーいクローズアップ！

(とペープサート、人形大きくなり上手から包丁を手にした山んばが現れる)

2 う、うわあああー！(山んば、小僧をむんずとつかみ)

3 これ、どこさ行くこんぞォ

2 い、いや、その、そうだシオンベン、シオンベンもれるう、かわや行きてえ、もれる、もれるウー！

3 くう…今すぐカラダ切り刻んで鍋ん中へと思ったが…せっかくのごちそうがシオンベンでうすまるのは嫌だ。しかたねえ、そしたら(と、小僧の腰に縄を巻き付け)…これでよし、ホレ、はやくすましてこい！

2 あ、ああ、わかった行ってくる、し、しょんべん、しょんべん、と…

1 そう言って小僧さんは家の外にある「かわや」に逃げ込みました。

弟子 昔のトイレは外にあったのね

2 (ボタンと戸を閉め) あ、ああ、どうしよう。オラ、山んばあに喰われてしまう…こっから出たらあの出刃包丁で、オラァグサリ、で手足ばらんばらんだあ…死にたくねえ…喰われたくねえ…でも、いつまでもここに居るわけにゃいかねえし…おしょーさ、すまね、オラ約束やぶっちまった…そうか、そのバチが当たんだな…自業自得ってやつか…ああ、どうすれば、…あれ、なんだこれ？

1 そう、腕を組んだ小僧さんの手にふれたのは弟子 和尚さんが持たせてくれた

二人 「三枚のおふだ」でした！

(高い所に和尚の人形登場、エコーのかかったような声で)

4 そうじゃ。もしなにかあぶない目にあった時は、このお札はお前の身代わりになってくれる…(消える)

2 そうだ、これがあった！

1 そこで小僧さんは腰の縄をかわやの柱にしぼりつけて

弟子 一枚目のお札にこうお願いをしました。

2 おふだおふだあ、願えだ、山んばが何か言ったら「まだだ、まだだ」って応えてくんろ！いいな、オラのかわりに返事して「まだだ、まだだ」言うんだぞ！

1 すっごーい、小僧さんグッドアイデア！

弟子 そうして、小僧さんはかわやの窓からすると外へ逃げ出しました。

1 さて、縄のはじっこを握ったまんま、小僧さんの帰りをまっている山んばは…

3 …ずいぶん、長えシオンベンだな…おい、こんぞ！シオンベンまだか？！

弟子 と、声をかけました。するとお札が…

2 (お札動く) まだだ、まだだ

3 まんだシオンベンつづくってか

2 まだだ、まだだ

1 やったね、小僧さん！ このスキに…

3 あん？…こんぞ、シオンベンの音がしねえぞ？

2 まだだ、まだだ

3 おかしいな…こんぞ、今夜は月がきれいだな

2 まだだ、まだだ

弟子 しまった！ お札は「まだだ」しか言えないんだ！

3 (かわやに近づいて)こんぞ…お前、名前は？

2 まだだ、まだだ

二人 ああーっ！ バレちゃうよ！

3 こんぞ！ ええーい！

1 と、山んばが強く縄を引っ張ると！(SE)

弟子 (屋台くずし)かわやはバラバラに壊れてしまいました！

3 (けなげに「まだだ」を繰り返すお札を握りつぶし)おのれ、こんぞ…

逃がすものか！ まてえい、こんぞォ！

(激しいSE、セット移動すると、隠れていた小僧が現れる)

2 う、うわあああーッ

- 1 逃げて、小僧さん。いそいで！  
 弟子 ほら、お札！ おふだにお願いして！  
 2 そうだった！ よーし、おふだおふだお願い  
 だ。大きな砂山になってくんろ！ 山んばが  
 登ればすぐにくずれる砂の山にィ！  
 1 そう叫んで、小僧さんは2枚目のお札をうし  
 るに放り投げた。すると…

(SE、どどーんと山が出現する)

- 弟子 大きな大きな砂の山が現れました！  
 3 ふん、こんな砂の山、それぞれえーい（と登  
 るが）ズ、ズ、ズー（と滑り落ちる）それ  
 それぞれえーい！ ズズズー  
 1 やったあ！ 登ればすぐにくずれる砂の山！  
 3 く、くそお…ぐわぐわぐわあーッ（山んばの  
 手、ブルドーザーとなり山をくずす。ブルドー  
 ザーのSE）

- 弟子 キャア！ たいへん！  
 3 ヒッヒッヒ。こんぞォ鍋はもうすぐだ。覚悟  
 せえ、こんぞぞォ！  
 2 うわあああーッ  
 3 それぞれえーい！（SE 激しく、山んばの  
 手、ぐんぐん伸びて小僧の頭を鷲掴みに！）  
 4 つるっ！  
 3 あら、すべっちゃった、ええーい（再び）  
 4 つるっ！ つるっ！ つるっ！  
 3 ええーい！ そうだこういう時は（シャキー  
 ン！ というSE音、山んばの手。鉄の爪とな  
 る）  
 1 ええーっ山んばってロボット？

- 弟子 小僧さん、はやくお札にお願いして！  
 2 そ、そんなこといったって…ああ、これが最  
 後の一枚で…えーと。そうだ！ お札、お  
 札あ！ ここにおっきな川つくってくんろ！  
 山んばがぜったい、絶対渡れない大きな川  
 を！  
 1 そういつて、最後のお札をうしろに放り投げ  
 ると！（SE）

- 弟子 流れの早い、山んばの絶対渡れない川が現  
 れました  
 3 ふん、こんな川、ええーい、ざぶん！ ズン  
 ズンズン（と川を行くが）  
 ぶくぶくぶく～（川に飲まれる）（繰り返す）  
 1 やったあ！ ぜったい渡れない川だもんね

- 2 へへへ、どんなもんだい！  
 3 よおし、こうなったら！ スー～、ゴクンゴ  
 クン、ゴクン！

弟子 ちょっと、え、山んばが川の水を飲み始め  
 たわ！

- 1 ほんとだ！ 川の水がどンドンへっていく！  
 3 ゴクン、ゴクン、ゴクーン（川が消える）

弟子 小僧さん走って！ 山んばが川を飲み干し  
 ちゃった

- 2 え、ええーっ！  
 3 ゲェーッ。まてまてこんぞ、こらまてえー  
 い（と追う）

1 どうしましょう、もう、お札は残っていない  
 し

弟子 でも、もうすぐお寺よ、がんばって小僧さ  
 ん

4 （登場して）ちょっと大事なシーンだから、ホ  
 ラ、クローズアップの魔法

弟子 そうでした！ クローズアップ！（人形大  
 きくなる）

4 もうひとこえ！

弟子 クローズ…

1 あ、2回つづけると！

弟子 アップ！

（舞台から役者、客席へと飛び出す）

小僧 ぎゃあー！

弟子 本物になっちゃった！

4 知ーらないと

（役者、客席をかけたまわっているうちに、舞台、お  
 寺のセットとなる・戸をたたくSE）

1 でも大丈夫、お寺には和尚さんが…っ？ え、  
 カギかかっている？！

小僧 おしよーさ、おしよーさ、たすけてくんろ、  
 おしよーさ！

和尚 誰だ、こんな夜中に

小僧 おらだ、こんぞだ、開けてくんろ、はやく！

和尚 いんや うちのこんぞは日の暮れる前に、  
 寺に戻っておったはず

小僧 ごめんしてけろ！ 約束やぶったっちゃ悪  
 かった、ごめんしてけろ！

（山んばちかづくSE、声）うわああーッ、は

やく、はやくう！ 一生のお願いだ！

和尚 一生のお願いの多いこと

小僧 はやくう、山んばが

和尚 まて、今、ふんどししめてる

小僧 ふんどしなんかしめんでええ！

和尚 そうはいかねえべ、よっこらしょっと

山んば こんぞォ～(すぐ近くに来ているようだ)

小僧 きたぁー！ おしょうさ、いそいで！

和尚 まて、今、タビははいてる、ありゃ、穴があ  
いとった

小僧 はだしていいべ

山んば こんぞお、いたな～

小僧 うわああーッ！ おしょーさ、はやく！

和尚 まて、今ぞうりははいてる。ありゃ鼻緒がの  
びとった

小僧 はやぐ～!!

1 ちょっと山んばがもうすぐそこに！

弟子 その時、お寺の門がギギギと開いた！  
こんぞはおしょさんの後ろにさっと身をかく  
した！

1 そこに、全身びしょぬれの、恐ろしい顔のや  
まんばが臭い息をハアハアさせてやってき  
た！

山んば ハア…ハア

和尚 これはこれは山んば殿、こんな里までよう  
こそお越し下さった。

山んば こんぞ渡せ…今すぐ渡せ！

和尚 あなたさまのお噂はかねがねうかがってお  
りました。なんでも…

山んば 今、ここで喰ってやる！ こんぞ渡せ！  
言う事聞かねえと、お前を先に喰う！

和尚 あああ、この世とお別れか！ それでは山  
んば殿、めいどの土産に、ひとつお願いがあ  
るのですが

山んば はやく言え、じじい！

和尚 はいあなた様はどんな大きさにもなれると  
聞きました。しかし…

しかしこの山寺より大きくなることはでき  
ますまい、いやあ、無理、無理、無理…

山んば なにい？

和尚 この寺の屋根を越えるほど大きくなれまし  
たら、この命、よろこんで差し出しますに、  
いやあ、やはり無理、無理でございませう  
なあ

山んば ふーん！ へでもねえ、それぞれそれ  
えーい！ (SE)

1 うわあ、山んばがどんどん大きくなってい  
く！

(役者は台上に立ち、着物のスソが伸びる)

弟子 あっと言う間にお寺の屋根を越えちゃっ  
たぁ！

山んば ふあつふあつふあつ…どうだぁ！

和尚 こりゃあ、見事なものだ。しかし、いや、  
それこそ無理というものか、ははは、やはり  
無理、山んばどのにもそればかりはできぬこ  
と

山んば ええーい今度は何だ！

和尚 いえいえ、大きくなるだけだったら山のタ  
ヌキにも出来る事。

まさか、小さくはなれますまい。

山んば な、なにに～？

和尚 いえいえ、ひとりごとにございます、まさ  
か、まさか、ちいさな豆粒にはなれませんで  
しょう？ こーんなちいさな豆粒になれまし  
たらこんぞの命、よろこんで差し出しますに、  
いやあ、無理無理、いくら山んば殿でも…

山んば (ニヤリと笑い)フツ…わしに出来ぬ事な  
どないわ！ こんぞの命はもらった！ え  
えーい！

(SE 激しく。役者、台から降り衣装の中に隠れる)

1 きゃあ！ あんなに大きかった山んばがどん  
どん小さくなって

弟子 (SE ポン) えーっ！ ちいさな、ちいさな  
お豆になっちゃった！

山んば (豆の声で)どうじゃ！ わしに出来ん事  
はないと言った筈じゃ！

1 と、にんまり笑ったおしょうさん、その豆を  
つまむと

和尚 ぱくり、ごっくん！

弟子 きゃあ！ 飲み込んじゃった！

和尚 わっはっはっは！ (小僧もつられて笑う。  
音楽流れてくる)

1 こうしてこの山からおそろしい山んばはいな  
くなりました。

弟子 小僧さんもきちんとお約束を守るように

なったということです。  
和尚・小僧 「三枚のおふだ」

全員（でてきて）お・し・ま・いでえーす！

（幕が閉じる。音楽も終わる）

